

教科シラバス（国語科）

科目名	学年	使用教材	【教科書】 国語総合「現代文編」「古典編」（東京書籍）
国語総合	1		【副教材】 漢文必携（桐原書店）・体系古典文法（数研出版）・新総合図説国語（東京書籍）
単位数（ 5 ）		必修・選択	

【学習目標】

- ・社会生活に必要な国語の能力を育成し、伝え合う力や思考力・想像力を伸ばす。
- ・言語感覚を磨き、心情を豊かにし、読書に親しむ習慣を育み、人生を豊かにする態度を養う。
- ・言語文化に関する知識や関心を高め、国語を尊重し、その向上を図る態度を育てる。

【学習方法】

- ・予習を前提として授業を進めます。「予習の充実」→「授業で確認」→「復習で定着」というサイクルを確立しましょう。現代文、古文、漢文のいずれの分野においても通読、語句の意味調べ（古漢では現代語訳まで）を終えてから授業に臨んでください。
- ・授業では、黒板を板書するだけでなく、自ら考え、自らの答えを導き出すことが出来るよう積極的に取り組みましょう。

【学習評価】

次の5観点に基づき、学習内容のまとめり（定期考査までの学習範囲）ごとに下の評価項目により学期毎に評価（評価点）を行い、年間総合の評価は5段階の評定で総括します。

①関心・意欲・態度	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。						
②話す・聞く能力	目的や場に応じて効果的に話的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。						
③書く能力	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。						
④読む能力	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。						
⑤知識・理解	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。						
評価方法／観点	①	②	③	④	⑤	※評価は定期テストが主ですが、授業態度、課題提出状況等を含めて評価します。	
授業態度・出席状況	◎	◎	○	◎	○		ノートを含む
課題	○		○	○	○		毎週末に提出
ペーパーテスト			◎	○	◎		定期考査及び課題考査

【学習アドバイス】

- ・まず自分でじっくり考え、それでもわからないことがあれば遠慮なく質問してください。分からないことを放置しない、という姿勢が大事。

【課外授業について】テキスト（基本の古典（古文・漢文））

- ・古典文法、古文の文章題演習、漢文句法、漢文の文章題演習を集中して行います
- ・予習を前提とした授業を行います。確実に予習してから臨みましょう。

【年間学習計画】

※A3をA4サイズに縮小印刷しています

月	学習内容（単元）	学習のねらい	学習活動（評価方法）
5	(現代文)言語活動 1「調査して発表する」	1・幅広く情報にあたって調査をする。 ・情報を整理し、根拠を明確にして考えをまとめる。 ・相手や目的に応じて工夫をした発表資料をつくる。	1 ワークシート・ノートで考えをまとめる。 (提出)
	2「情報を読み取る」	2・多様なメディアから情報を的確に読み取る。 ・読み取った情報を多角的に比較してまとめる。	2 ワークシート・ノートで考えをまとめる。 (提出)
	(古文)「重要語の意味調べ」	・教科書の重要語の意味を調べて、辞書の引き方に慣れ、語彙力向上を図る。	・ワークシートに記入 (提出)